

令和元年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	南箕輪村
------	------

No.	事業項目	事業名
1	木を活かした力強い産業づくり	地域材木製品購入事業
事業費 770,000 円 (うち支援金: 715,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題
アカマツを主とした大芝村有林は、近年松くい虫の被害が甚大であり枯損木として処理されています。
古くから村民を中心に親しまれてきた森林であるため、単に松枯れ等で処分されるだけでなく、材として有効活用していくことも必要であると考えます。

(2) 本事業の目的
(1) の課題への対応方向について記載)
アカマツを含む地域材を使った木製品(マーケットテント・木製遊具等)を購入及び各種イベントでの使用や貸出しなどにより、県産材木製品の普及・啓発を図ります。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 南箕輪村 大芝公園内
(2) 対象者 南箕輪村
(3) 実施方法 地域材木製品を購入し、各種イベントでの使用や貸出しを行う。
(4) 事業目標及び当年度事業量
①全体計画(令和元年度)
地域材木製品の購入
②令和元年度計画(実績)
地域材木製品の購入(マーケットテント、木製のぼりスタンド、木ぼっくり、経木)



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

アカマツを含む地域材を使った木製品であり、より親しみをもってもらえるとともに、木製の温かみや優しさを伝えることもでき、地域材の利用を促す。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

地元をはじめ広域的な活用も検討していくことにより、将来的に地域材の有効活用を図る。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

大芝高原を訪れた方々に木製品を見て触れていただくことで、それらの良さが伝わり、今後の活用の発展に寄与することができる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

本事業については、村の顔である大芝高原の各種イベントで利用できるため、木製品の紹介や周知することが期待できる。

(2) 課題

村として木製品を扱う事業は今まで全く行っていないため、継続的な事業として財源確保や木製品利用の必要性をさらに深めること課題となっている。

(3) 今後の取組方向

☐ 事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

■ 事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

村の木材の有効利用や活用方法を視野に入れ、計画性を持った事業展開を検討して継続を図っていきたい。

☐ 事業を継続しない

(継続しない理由を記載)